

音楽科

第3学年評価計画

観点については、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度、とする。

指導題材	観点	題材の評価規準 学習評価表	具体的評価目標 おおむね満足 B	評価方法 場面
花	①②③	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p><u>1. 知識・技能</u></p> <p>(1)定期試験における、知識に関する項目の点数</p> <p>(2)実技テストにおける点数</p> <p><u>2. 思考・判断・表現</u></p> <p>(1)定期試験における、思考・判断・表現に関する項目の点数</p> <p>(2)ワークシートの思考・判断・表現の項目による評価</p> <p>C：内容がずれているもの。内容が不十分と判断されるもの。</p> <p>B：授業の中で説明した内容や、自ら理解したことがまとめてあるもの。</p> <p>A：Bに加え自分の考えが根拠を元に書かれており、内容も十分だと判断されるもの。</p>	定期試験 ワークシート
ブルタバ	①②③	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に</p>	<p><u>3. 主体的に学習に取り組む態度</u></p> <p>(1)実技テストを元に、授業中の活動の様子などから、自らの課題に対して調整しようとする姿勢を評価する。</p> <p>(2)ワークシートにおける、テスト後の自らの学習を調整しようとする項目の評価</p> <p>C：内容がずれているもの。内容が不十分と判断されるもの。</p> <p>B：授業の中で説明した内容や、自ら理解したことがまとめてあるもの。</p> <p>A：Bに加え自分の考えが根拠を元に書かれており、内容も十分だと判断されるもの。</p>	定期試験 ワークシート

		鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
合唱祭に向けて 指揮法	①②③	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能, 全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け, 歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色, 旋律, テクスチャ, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	定期試験 実技テスト ワークシート
西洋音楽史 日本音楽史	①②③	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わり, 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史, 他の芸術との関わりについて理解している。</p> <p>[思] 音色, 旋律, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 曲や演奏に対する評価とその根拠, 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造との関わり, 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史, 他の芸術との関わりに関心を持ち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	定期試験 ワークシート

アルトリ コーダー	①②③	<p>[知] 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法, 技能を身に付け, 器楽で表している。</p> <p>[思] 音色, 速度, 旋律を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>		定期試験 実技テスト ワークシート